

2023年度 リーダー研修会 2024年2月11日(日) 参加生徒 79名

(2年生より希望者45名/1年生より希望者2名/生徒会執行部員32名)

本年度の研修会も、校長先生からの挨拶から始まり、各班に分かれ自己紹介を行った後、各々が理想とするリーダー像について話し合った。その後、以下の講師の先生方からの講演の後、講演を受けてのリーダー像について再び考え、班ごとの意見交換の後、自分たちが考える「理想のリーダー像」について全体に発表した。アドバイザーとして2人の講師の先生からアドバイスや講評を頂いた。



講演① 「ジブリで考える人権 部落差別とは何だったのか」

崇仁発信実行委員会 理事 京都産業大学教職員課程教育センター 坂田 良久 氏

講演② 「災害に備える・防災から考えるリーダー像とは」

びわこ学院大学 教育福祉学部 学部長 烏野 猛 氏

講演③ 「社会に貢献できるリーダー像とは」

株式会社 BORN FREE 執行役員 人事部長 尾田 洋 氏



リーダー研修会を受けての生徒の感想

・校長先生の目標に対して、ワクワクする気持ちを忘れず、何事も全力で楽しむことのできるリーダーという言葉に深く共感した。

・坂田先生の、「常に人を尊敬すること」「人の数だけ価値観がある」という言葉や、「自分が自分であることを誇る」というのは、外見に左右され、知らない人から軽々しい批判を受ける現代社会の中で、自分らしく強く生きるという、これから生きていく為の物差しのようなものを得ることができたように思う。

・烏野先生の「自分の力で身につけたもの」が生きる上で自分の強い力になるということ、基礎知識を持つことや蓄えること、「常に冷静であること」ことを学んだ。私はリーダーとしてこの言葉を大切に、より良い決断ができる人になりたい。

・尾田さんの「自分が指示するのではなく、自分が支持されるようになる」という言葉が心に残った。また、「リーダーシップは全員がもつものだ」というお話から、私は「皆にリーダーシップを与えることができるリーダー」になりたいと思う。

・研修前と研修後の「理想のリーダー像」が大きく変わった。

